

# 令和5年度組織目標

部局名	総合企画部
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○基本構想・総合戦略の推進、さらに未来を見据えた政策の企画・先導</p> <p>★主要プロジェクト等の着実な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DXの推進（手のひらスマート県庁等）</li> <li>・CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会実現に向けた取組の推進（モデル的なプロジェクトの創出）</li> <li>・滋賀県立高等専門学校設置準備の推進</li> </ul> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪・関西万博に向けた取組の推進</li> <li>・県北部地域振興の推進</li> <li>・人権尊重の社会づくり</li> <li>・姉妹友好州省等との海外連携の推進</li> <li>・包括的連携協定を活用した協働、連携の推進</li> <li>・EBPMの推進</li> </ul>
	<p>○未来を展望するための知見の集積</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年以降を展望する（仮称）新しい豊かさ研究会の立ち上げ</li> </ul>

所属名	企画調整課
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○基本構想および総合戦略の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①基本構想・総合戦略の目標達成につながる施策の構築および国等への提案の実施</li> <li>②「未来へと幸せが続く滋賀」の実現に向けた総合戦略の改訂（基本構想実施計画との一体化（統合））</li> </ul>
	<p>○未来を展望するための知見の集積</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2026年以降を展望する（仮称）新しい豊かさ研究会の立ち上げ</li> </ul>
	<p>○県内14大学連携の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学コンソーシアムの活用等による人づくりをはじめとする地域課題の解決に向けた県内14大学の連携推進</li> </ul>
	<p>○【見直し・効率化】基本構想進行管理の見直し</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全庁的な効率化につながる実施計画の評価手法の検討・見直し</li> </ul>
	<p>○大阪・関西万博に向けた取組の推進</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機運醸成のための官民による推進協議会の設置</li> <li>子どもたちを万博に招待する施策の基本方針の策定</li> </ul>
	<p>○関西広域連合等を通じた県益に資する発信</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優れた県施策を広域連合の取組ともするよう意識すること</li> <li>・広域連合の活用による県施策の効果や効率性の向上</li> </ul>

所属名	新駅問題対策・特定プロジェクト推進室
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 県北部地域振興のグランドデザインの構築と北の近江振興プロジェクトの推進</p> <hr/> <p>県北部地域振興のグランドデザインの構築</p> <p>目標： 総合プロジェクトにおける先行事業の推進：3事業 新たな総合プロジェクトの創出：2件</p>
	<p>○ 新駅問題完遂に向けた取組の推進</p> <hr/> <p>目標： 残る地権者との契約の完了および道路整備工事の完成</p>
	<p>○ 【見直し・効率化】 担当者の課題対応力の向上</p> <hr/> <p>目標： 資料作成や議会答弁等における、ノンペーパーでの作成方針協議の実施</p>

所属名	高専設置準備室
R5年度に特に注力する事項（目標）	<p>○ 滋賀県立高等専門学校の設置準備の加速化</p> <hr/> <p>・ 令和10年4月の開校を目指し、設置主体である公立大学法人滋賀県立大 目標： 学との更なる連携・協働による設置準備の加速化 ・ 高専の内容を固めた基本構想2.0の策定</p>
	<p>○ 滋賀県立高等専門学校開校準備の着実な推進</p> <hr/> <p>・ 設置主体（法人）との連携による教員選定、カリキュラムおよび施設整備 目標： の方針の決定 ・ 経済界との共創プラットフォームの立ち上げ</p>
	<p>○ 理工系人材育成・確保に向けた検討</p> <hr/> <p>目標： 教育委員会、県内大学および企業等との連携による理工系人材の育成・確保に向けた小・中学生への裾野拡大方策の立案</p>
	<p>○ 【見直し・効率化】 各種資料のペーパーレス化、共有化の推進</p> <hr/> <p>目標： 県と法人双方の担当職員が互いのオフィスを行き来し、一体となって業務遂行が出来るよう、各種資料のペーパーレス化、共有化の徹底</p>

所属名	国際課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○世界に目を向け、世界と繋がる県庁の推進 目標： 姉妹友好州省等との海外連携を支援した所属数：9
	○地域日本語教育の推進 目標： 日本語学習支援者養成研修の受講人数：延べ75人
	○【見直し・効率化】 海外との交流におけるロジカの強化 目標： 標準仕様やチェックリストの作成および共有

所属名	県民活動生活課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○新たな連携事項を創出 目標： 包括的連携協定の仕組み等を活用した協働、連携の取組の推進
	○県史編さん事業の推進 目標： 資料編（戦前編）の発行に向けた調査および情報発信等の推進
	○【見直し・効率化】 ペーパーレス決裁の進展 目標： ペーパーレス決裁の進展に対応した文書管理システムの見直し

所属名	CO <sub>2</sub> ネットゼロ推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○地域課題の解決につながる、CO <sub>2</sub> ネットゼロ社会の実現に向けたモデル的なプロジェクトの創出 目標： 環境省の「脱炭素先行地域」に応募するプロジェクトの組成 2件以上
	○産官学金民の連携による、CO <sub>2</sub> ネットゼロムーブメント推進に向けた取組の創出 目標： 「ネットゼロフォーラムしが」における連携取組の組成 2件以上
	○事業者の連携による、CO <sub>2</sub> ネットゼロ化の促進に向けた仕組みづくり 目標： CO <sub>2</sub> ネットゼロ化に向けた事業者との協定の締結および仕組みづくり
	○【見直し・効率化】 R6年度以降の各施設における電灯のLED化に向けた調達の効率化を図るための仕組みづくりの検討 目標： 効率化に向けたLED調達スキームの策定

所属名	人権施策推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○人権意識の高揚 目標： 人権啓発事業に参加された方に対するアンケート結果で、人権啓発の効果が見られた人の割合 90%
	○人権侵害に関する相談・支援体制の充実 目標： ・人権相談ネットワーク協議会研修会での受講者満足度 90% ・地域総合センター職員研修会での受講者満足度 90% ・性の多様性に関する人権侵害にかかる対応の検討・充実
	○【見直し・効率化】 大規模イベントの開催方法の見直し、整理・統合 目標： 事業見直しを反映した形でのイベントの開催

所属名	DX推進課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○【見直し・効率化】手のひらスマート県庁の推進 目標： 電子納付が可能な手続数：15業務 ※手のひらスマート県庁ポータル構築
	○地域との協働によるDXの推進 目標： 「滋賀県DX官民協創サロン」を活用した県、市町や企業のDX推進等の取組の支援数：15件
	○庁内におけるコミュニケーションツールの有効活用 目標： グループウェア（ウェブメール、庁内メール、掲示板、共有文書）、ビジネスチャットの使い分けを十分意識している職員の割合 50%以上（現在、約20%） ※全職員向けマインドセット研修等に合わせてアンケートを実施

所属名	統計課
R5年度に特に注力する事項（目標）	○EBPMの支援 目標： 「EBPMに係るデータ分析・研究支援検討会」で助言・支援等を行った件数 10件 データ分析実践セミナー受講者 90名
	○精度の高い統計調査の着実な実施 目標： 経常調査の調査票回収率の維持・向上 労働力調査83.0%、家計調査95.0%、小売物価調査100% 毎月勤労統計調査 第1種85.6%、第2種93.6%、特別97.7%
	○【見直し・効率化】オンライン回答の推進による業務の効率化 目標： 調査票・返信用封筒の削減、回収に伴う業務の効率化 前回調査実績を上回る回答率